

本園の教育・保育の理念、方針、目標

教育理念	本園の教育目標と 5 領域		本園の教育・保育活動と幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿
強いからだ (健康) 強いところ (英知) を持つ こども	健康	明るく元気で、からだが丈夫なこども 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う	1. 健康な心と体 体が丈夫であることは生きていくうえでの基本です。また、こころが健康であることも大切です。毎日安定感をもってあそべるよう援助していきます。
	表現	自分で考え、一生懸命やりとおすこども 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い創造性を豊かにする。	2. 豊かな感性と表現 3. 自立心 4. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 物事に進んで対応する資質が求められています。どんな小さなことでも自分から関わり、自分なりの考えをもてるよう、幼児期から育てていきます。
	環境	約束や決まりを守り、進んで友達と楽しくあそぶこども 周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う	5. 思考力の芽生え 6. 自然との関わり・生命尊重 自分一人だけでなく、友だちや先生と楽しくあそぶために、必要な約束や決まりを毎日の生活の中で身に付けさせていきます。
	人間関係	心ゆたかで思いやりのあるこども 他の人々と親しみ、支え合って生活するために自立心を育て、人の関わる力を養う	7. 協同性 8. 道徳性・規範意識の芽生え 9. 社会生活との関わり 生活のいろいろな出来事に気付き、感じる心をもつことが感性を育てるうえで重要です。また、友だちとの様々な関わりの中で、相手の立場に立つことができるよう援助していきます。
	言葉	人の話を良い態度で聞き、正しい言葉が使えるこども 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う	10. 言葉による伝え合い 相手を思いやろうとする気持ちと同時に、自分の思いを伝えたい気持ちを大切にしています。言葉を交わす喜びをもつことやお話しに親しむことで、言葉に対する感覚を培います。